



山スキーの初土俵は根子岳だった

(根子岳 BC 初級ツアー山行記録)



【山城】根子岳

【日程と天気】2020年1月19日(日)晴

【メンバー】CL 菊池、石井、広木、渡辺俊、高山(記録)

【行程】

千葉→菅平奥ダボス駐車場→リフト一本(気温-6℃)→シール登行→

根子岳山頂(気温-10℃)→往路を滑走→駐車場→真田の湯→帰葉

中古の板を入手し、昨年暮れにゲレンデ講習にも参加して、さあBCデビューはいつ&どこになるかとワクワクしていたところ、1月19日日帰りツアーで初級向けの根子岳にKN師匠に連れて行っていただきました。デビュー戦のご報告となります。

千葉早朝の出発でしたので、奥ダボス駐車場についたのはリフトが稼働前の8時過ぎ。身の支度と準備運動をしたらちょうどリフトの始発に間に合うタイミングでした。リフト1本を乗って降りたところは、眺望が良く、根子岳フルーに加えて遠く一面雪景色の北アルプスが輝いていました。



シールを付けて根子岳山頂方面へ登高開始。前月のゲレンデ講習でシール登高の練習をしたつもりなのですが、実際雪面を歩いてみると最初はぎこちなく不自然の様子でした。KN 師匠のアドバイスを受けて、膝を大きく曲げてスキーを滑らせるようにすべく、一気に自然で楽な姿勢に改善しました。



避難小屋で1本を取り、後半の道は勾配が増してきましたが、歩行練習の効果もあり、快晴のもと綺麗な霧氷の景色に癒されながら、わがパーティー5人の調子が上々でした。



標高が上がるにつれて木々の姿も変化し、途中の霧氷は山頂直下に来て、モンスターに変身しました。モンスターたちの膝元を通過して、正午頃には開かれた根子岳山頂に到達。



山頂直下でソノテ棒を用いて測定した積雪 110 cm、ゲレンデの 85 cmより深かっただけ

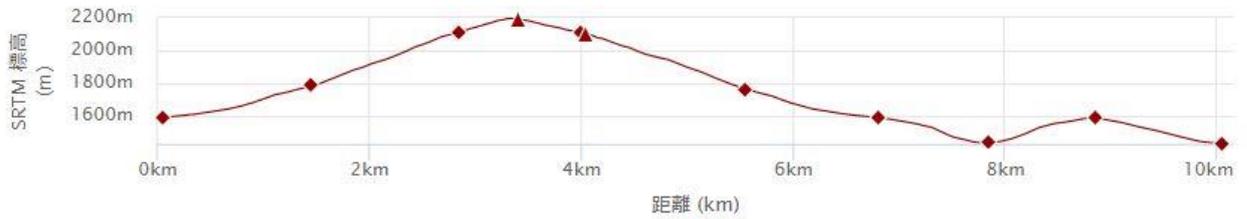
でなく、パウダースノーのエリアが広がっていました。それでも積雪量が例年ほど無く、ところどころ笹の頭が露出し、先陣を切る KN リーダーが滑るコースの選定に余念が無い様子でした。



リフト1本と3時間のシール登高で稼いだ貯金をみんな思い思いの滑りで使いはしていく豪快さが堪らない！これだっ、バックカントリスキーの楽しみは本日初デビューの小生にも垣間見ることができたような気がしました。

先月ゲレンデ講習後の感想と聞かれた時、「KEEP OUT!(ゲレンデの外に飛び出したい)」と答えましたが、これほど早く BC の初土俵に登れたのは本当に大感激です。いつも熱心にご指導くださって、初土俵に導いていただいた KN 師匠に御礼を申し上げたいと思います。また楽しい山行をご一緒させていただいた IK さん、HA さん、WT さんにも感謝したいです。皆さんどうもありがとうございました！またよろしく願いいたします。

(念のため、タイトルに“土俵”の文字が有りましたが、横の写真は相撲取りの様子ではなく、感謝のハグであることを釈明しておきます 笑)



日帰り		山行	4時間29分	休憩	52分	合計	5時間21分		
S	第1リフトゲレンデトップ	09:10	10:07	根子岳避難小屋	10:21	11:27	小根子岳分岐	11:28	
	11:55	根子岳	12:28	13:00	小根子岳分岐	13:02	13:30	根子岳避難小屋	13:30
	13:38	第1リフトゲレンデトップ	13:54	奥ダボス第1トリプルリフト乗場	14:02	第1リフトゲレンデトップ	14:02		
	14:11	奥ダボス第1トリプルリフト乗場	14:16	14:31	ゴール地点	G			